

2025年1月28日
首都圏新都市鉄道株式会社



クレジットカード等によるタッチ決済システムと
QR 乗車券システムの本稼働を目指します
～ 磁気乗車券の廃止に向けて、準備を進めてまいります ～

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長 渡邊 良、本社:東京都千代田区)では、多様化したライフスタイルに対応し、国内外のお客様に新たな乗車サービスを提供することを目的として、タッチ決済対応のカード(クレジット、デビット、プリペイド)を活用した乗車サービス(以下、「タッチ決済」)の本稼働を目指します。

また、環境に配慮した持続的な鉄道サービスを提供することを目的として、磁気乗車券を廃止し、QRコード※を活用したQR乗車券に移行することを目指します。

なお、各駅の改札機等を更新しながら新しいシステムを導入するため、2025年春より駅の一部通路において磁気乗車券の使用ができなくなるなど、お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

主な日程(予定)

- | | |
|---------|---|
| 2025年春～ | TX線駅の一部通路において磁気乗車券の使用不可 |
| 2025年夏～ | TX線5駅でタッチ決済の実証実験を先行開始
(秋葉原駅、浅草駅、北千住駅、流山おおたかの森駅、つくば駅) |
| 2026年春～ | TX線全20駅でタッチ決済の実証実験を開始 |
| 2026年秋～ | TX線全20駅でタッチ決済を本稼働
TX線全20駅で磁気乗車券からQR乗車券へ移行して本稼働
(磁気乗車券を廃止) |

※詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

以上

磁気乗車券から QR 乗車券への移行について

1 目的

(1)お客様サービスの向上

現在の磁気乗車券は出改札機器へ投入する仕組みのため、機器の不具合による券詰まりなど、お客様にご迷惑をおかけする状況が発生しています。非接触による処置が可能な QR 乗車券の導入により、出改札機器のメンテナンス性の向上や故障率の低減を図り、お客様がよりストレスなく駅をご利用いただける環境の整備を進めていきます。

(2)より環境にやさしい用紙への置き換え

磁気乗車券の用紙は金属を含んでいるため、リサイクルにあたり磁気層の分離・廃棄が必要であり、一定の環境負荷がかかっています。今回、よりリサイクルが容易で、環境負荷を低減できる用紙に変更可能な QR 乗車券への置き換えを実施することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

(3)持続可能なシステムへの移行

駅の自動改札機、自動券売機をはじめとした機器(以下、出改札機器)は、磁気乗車券用の機構の複雑さ・鉄道固有の専門性の高さから、中長期的に維持していくためには持続可能なシステムに移行する必要があると考えています。将来にわたり、出改札機器による鉄道サービスを提供していくため、磁気乗車券から QR 乗車券へのシステム移行を順次実施します。

2 その他

(1)QR 乗車券の取扱いなど、詳細については別途ご案内いたします。

(2)連絡運輸で関係する他の鉄道事業者と、お客様サービス面での調整を行っています。



新型自動改札機(イメージ)



QR 乗車券(イメージ)

参考 当社プレスリリース(2024年6月20日付)

つくばエクスプレス線の一部の駅で、クレジットカードやデビットカード等のタッチ決済および QR 乗車券による乗車サービスの実証実験を 2025 年中に開始します ~新たな乗車券サービスにより、お客様の利便性向上を図ります。

https://www.mir.co.jp/assets_rti/pdf/88fc09bf69a4517ab8b7c37aa4be8d9a.pdf